

令和2年度 栽培管理表

管理番号 2001

記入日

2020年9月15日

生産者	木村 平	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	榎幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の上・開墾・松浦	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・青島			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	170 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	2020年9月下旬～12月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2019年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	21000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	2020年9月下旬～1月中旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2019年12月下旬	出荷期間	2020年9月下旬～1月中旬	18000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2020年3～5月	オリジナル配合674	80kg		2020年4月6日	オリジナル配合674	100kg	開墾・家の上
3～5月	モグラ堆肥A	100kg		4月10日	オリジナル配合674	25kg	松浦
10～11月	オリジナル配合674	100kg		4月14日	モグラ堆肥A	100kg	松浦
10～11月	モグラ堆肥A	100kg					
3～7月	天恵緑汁	500倍/300L					以降、収穫終了後施肥予定
	以後、計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2020年4月上旬	殺菌	フロンサイド水和剤	1000倍 500L	2020年 4月2～3日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
4月上旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 400L		アビオンE	1000倍	
7月上旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍	6月3～6日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	松浦/早生 家の上/極 早生 散布
	殺菌	デランフロアブル	1000倍		アブロードエースフロアブル	1000倍	
殺虫	アブロードエースフロアブル	1000倍 500L	モスピラン水溶剤		3000倍		
7月上旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍 500L		アビオンE	1000倍	500L
9月上旬	殺虫	アルパリン顆粒水溶剤	2000倍 500L	6月6～9日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	家の上/早 生・青島 開墾/極早 生・早生 散布
9月下旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 500L		アブロードエースフロアブル	1000倍	
9月下旬	殺虫	サンマイト水和剤	2000倍 500L		モスピラン水溶剤	3000倍	
4月～7月	展着剤	アビオンE (農薬混用予定)	1000倍		アビオンE	1000倍	500L
		以後、計画無し		9月14日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	家の上/青 島 散布
					サンマイト水和剤	2000倍	
					アビオンE	1000倍	500L
					以後、散布無し		

特別栽培農産物の根拠				
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	9 回	5 割減
当作肥料計画		当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	10 割減
当作農薬計画		当作実績(化学合成農薬使用回数)	8 回	6 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。	今年は、例年より梅雨明けが2週間ほど遅れました。7月上旬には九州各地で大雨による水害が発生するという状況で、日照不足による生育が心配されました。8月に入ると7月とは打って変わり、干ばつ傾向で水不足による玉肥大への影響が懸念され、9月上旬には台風の影響等、今年は天候に翻弄される栽培環境でした。果実には長雨や台風による黒点や擦れ傷が見受けられます。食味的には8月干ばつ傾向により糖度上昇も見られるようで、今後の食味向上が期待されます。

令和2年度 栽培管理表

管理番号 2002

記入日

2020年11月2日

生産者	大坪啓二	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の前・家の上	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	105 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	2020年9月下旬～12月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2019年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	30000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	2020年9月下旬～1月中旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2019年12月下旬	出荷期間	2020年9月下旬～1月中旬	28000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2020年5月上旬	自家製ボカシ	600kg		2020年2月5～6日	自家製ボカシ	600kg	
10月下旬	自家製ボカシ	600kg		5月27～30日	自家製ボカシ	600kg	
	自家製ボカシ内容 シメジ粕 米ぬか 魚粉 蒸成骨粉 ヤシ灰				以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2020年5月上旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2020年 4月4～5日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	家の前・家の上 極早生・早生 部分散布
5月上旬	殺菌	フロンサイド水和剤	1000倍 500L		アビオンE	1000倍	
5月上旬	殺菌	ICボルドー66D	1000倍 500L	4月5～6日 混用散布	フロンサイド水和剤	1000倍	上記以外への部 分散布
6月中旬	殺虫	モスピラン水溶剤	2000倍 500L		アビオンE	1000倍	
6月下旬	殺虫	アップロード水和剤	1000倍 500L	5月5～12日	ICボルドー66D	2倍	0.3L/樹
7月上旬 混用予定	殺虫	サンマイト水和剤	2000倍	6月5～9日 混用散布	サンマイト水和剤	2000倍	
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍 500L		ストロビードライフロアブル	2000倍	
9月上旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 500L		モスピラン水溶剤	2000倍	
4～7月	展着剤	アビオンE	1000倍 農薬混用		アビオンE	1000倍	
					アプロード水和剤	1000倍	500L
				9月15～20日	サンマイト水和剤	2000倍	500L 早生のみ散布
		以後、計画無し					
					以後、散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	6 回	当作農薬計画	7 削減
当作実績(化学肥料使用量)			0 kg/10a		
当作実績(化学合成農薬使用回数)			7 回		
当作肥料実績			10 削減		
当作農薬実績			6 削減		

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は、例年より梅雨明けが2週間ほど遅れました。7月上旬には九州各地で大雨による水害が発生するという状況で、日照不足による生育が心配されました。8月に入ると7月とは打って変わり、干ばつ傾向で水不足による玉肥大への影響が懸念され、9月上旬には台風の影響を受け、今年は天候に翻弄される栽培環境でした。果実には長雨や台風による黒点や擦れ傷が見受けられます。食味的には8月干ばつ傾向により糖度上昇も見られるようで、今後の食味向上が期待されます。</p>

令和2年度 栽培管理表

管理番号 2003

記入日

2020年9月24日

生産者	中山信一郎	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	山田日平	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	75 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	2020年9月下旬～12月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2019年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	19000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	2020年9月下旬～12月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2019年12月中旬	出荷期間	2020年9月下旬～12月下旬	17000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2020年4月上旬	モグラ堆肥A	120kg	東海マルタ	2020年5月1日	モグラ堆肥A	140kg	
11月下旬	モグラ堆肥A	140kg	東海マルタ	6月16日	パワーアミノ液肥1号	800倍/700L	農薬に混用散布
					硫酸マグネシウム	500倍/700L	
5月～7月	パワーアミノ液肥1号	1000倍/600L	3～4回、葉面散布	7月28日	パワーアミノ液肥1号	800倍/700L	農薬に混用、2回目散布
5月～7月	硫酸マグネシウム	500倍/600L	その他資材(微量要素)		硫酸マグネシウム	500倍/700L	
							以降、収穫終了まで施肥
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2020年4月下旬	殺菌	フロンサイド水和剤	1000倍 600L	2020年4月11日	フロンサイド水和剤	1000倍 700L	
5月中旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍	5月20日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
	殺虫	モスピランSL液剤	3000倍 600L		モスピランSL液剤	3000倍 700L	
6月中旬 混用予定	殺虫	アブロードエースフロアブル	1000倍	6月16日 混用散布	アブロードエースフロアブル	1000倍	
	展着剤	アピオンE	1000倍		ストロビードライフロアブル	2000倍	
7月下旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍 600L	7月28日 混用散布	アピオンE	1000倍 700L	
	殺虫	ストロビードライフロアブル	2000倍		サンマイト水和剤	3000倍	
8月上旬	殺虫	モスピランSL液剤	3000倍 600L	7月28日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍 600L		アピオンE	1000倍 700L	
9月上旬	殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 600L	9月14～15日 混用散布	ダニゲッターフロアブル	2000倍	早生のみ散布
9月中旬	殺虫	ダニゲッターフロアブル	2000倍 600L		アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 700L	
		以後、計画無し					以後散布無し

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0.3 kg/10a	当作肥料計画	9 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	11 回	当作農薬計画	5 削減
			当作実績(化学肥料使用量)		
			0.3 kg/10a		
			当作実績(化学合成農薬使用回数)		
			10 回		
			当作肥料実績		
			9 削減		
			当作農薬実績		
			5 削減		

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は、例年より梅雨明けが2週間ほど遅れました。7月上旬には九州各地で大雨による水害が発生するという状況で、日照不足による生育が心配されました。8月に入ると7月とは打って変わり、干ばつ傾向で水不足による玉肥大への影響が懸念され、9月上旬には台風の影響を受け、今年は天候に翻弄される栽培環境でした。果実には長雨や台風による黒点や擦れ傷が見受けられます。食味的には8月干ばつ傾向により糖度上昇も見られるようで、今後の食味向上が期待されます。</p>

令和2年度 栽培管理表

管理番号 2005

記入日

2020年9月12日

生産者	吉田政美	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	高野・新地	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	80 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	2020年9月下旬～12月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2019年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	8000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作物名	みかん	出荷予定日	2020年9月下旬～1月中旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2019年12月下旬	出荷期間	2020年9月下旬～1月中旬	7000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2020年3月上旬	自家製ボカシ	300kg		2020年2月14日	自家製ボカシ	300kg	
10月下旬	自家製ボカシ	100kg					
	自家製ボカシ内容 米ぬか 魚粕 モグラ堆肥A 糖蜜 乳酸菌 水				以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2020年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 300L	2020年4月26日	デランフロアブル	1000倍 300L	
5月中旬	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 300L	5月11日	モスピラン水溶剤	3000倍 300L	
6月中旬	殺菌	ストロビードライフフロアブル	2500倍 300L	6月5日	ストロビードライフフロアブル	2500倍 300L	
7月中旬	殺虫	アブロードフロアブル	1000倍 300L	6月27日	デランフロアブル	1000倍 300L	
8月中旬	殺菌	ストロビードライフフロアブル	2500倍 300L	7月23日	アブロードフロアブル	1000倍 300L	
9月中旬	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍 300L	8月10日	ストロビードライフフロアブル	2500倍 300L	
9月下旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 300L	9月中旬	サンマイト水和剤	3000倍 300L	予定
				9月下旬	ロディー乳剤	2000倍 300L	予定
		以後、計画無し			以後、農薬散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	7 回	当作農薬計画	6 削減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	8 回
				当作肥料実績	10 削減
				当作農薬実績	6 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は、例年より梅雨明けが2週間ほど遅れました。7月上旬には九州各地で大雨による水害が発生するという状況で、日照不足による生育が心配されました。8月に入ると7月とは打って変わり、干ばつ傾向で水不足による玉肥大への影響が懸念され、9月上旬には台風の影響を受け、今年は天候に翻弄される栽培環境でした。果実には長雨や台風による黒点や擦れ傷が見受けられます。食味的には8月干ばつ傾向により糖度上昇も見られるようで、今後の食味向上が期待されます。</p>

令和2年度 栽培管理表

管理番号 2006

記入日

2020年9月16日

生産者	泉 カズ子	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市不知火町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	大桜	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	30 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	2020年11月上旬～12月中旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2019年12月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	8000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	2020年11月上旬～12月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2019年12月下旬	出荷期間	2020年11月上旬～12月下旬	7500kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2020年3月中旬	モグラ堆肥A	70kg	東海マルタ	2020年 3月7日 混合施肥	モグラ堆肥A	70kg	
3月中旬	味まる4号	140kg			味まる4号	160kg	
5月中旬	味まる4号	140kg			5月2日	味まる4号	130kg
12月中旬	味まる4号	140kg					
	以後、施肥計画無し						以降、収穫終了まで施肥無し

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績				
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考	
2020年5月上旬	殺虫	オリオン水和剤40	1000倍 400L	2020年 5月11日 混用散布	エクシレルSE	5000倍		
5月上旬 混用予定	殺虫	エクシレルSE	5000倍		ストロビードライフフロアブル	2500倍	400L	
	殺菌	ストロビードライフフロアブル	2500倍		6月7日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
5月中旬 混用予定	殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍		アブロードエースフロアブル	1000倍	600L	
	殺虫	ハーベストオイル	150倍		7月17日 混用散布	モスピラン水溶剤	3000倍	
6月上旬 混用予定	殺虫	アブロードエースフロアブル	1000倍		ストロビードライフフロアブル	2500倍	600L	
	殺菌	デランフロアブル	1000倍		8月15日 混用散布	サンマイト水和剤	3000倍	
7月上旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍		ストロビードライフフロアブル	2500倍	600L	
	殺菌	ストロビードライフフロアブル	2500倍					
9月中旬 混用予定	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍					
	殺菌	フロンサイド水和剤	2000倍					
5～9月	展着剤	アピオンE	1000倍 農薬に混用					以後、農薬散布無し
	以後、計画なし							

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	11 回	当作農薬計画	5 削減
当作実績(化学肥料使用量)			0 kg/10a		
当作実績(化学合成農薬使用回数)			9 回		
当作肥料実績			10 削減		
当作農薬実績			5 削減		

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は、例年より梅雨明けが2週間ほど遅れました。7月上旬には九州各地で大雨による水害が発生するという状況で、日照不足による生育が心配されました。8月に入ると7月とは打って変わり、干ばつ傾向で水不足による玉肥大への影響が懸念され、9月上旬には台風の影響を受け、今年は天候に翻弄される栽培環境でした。果実には長雨や台風による黒点や擦れ傷が見受けられます。食味的には8月干ばつ傾向により糖度上昇も見られるようで、今後の食味向上が期待されます。</p>